

手取川における水質事故について



○ 2月10日の状況

- 12時56分 鶴来浄水場取水口にある水質計で油分を検知
- 13時30分 職員が取水口で水を採取し油臭を確認
- 13時40分 手取川からの取水を停止
→オイルフェンス設置
→活性炭の注入による水質改善を繰り返し実施
- 14時30分 13市町に対し油流出の状況を報告、県水の供給停止の可能性を連絡
- 15時00分 水質の改善（油分濃度は13時時点から1/4まで減少）を確認
→取水再開へ向け調査結果の数値を注視
- 15時50分 浄水場内の着水井でせき止めていた油分を含んだ水の排水を開始
- 18時00分 県水の供給停止を判断し、13市町へ県水の供給停止を連絡
- 18時35分 報道機関へ情報提供
- 19時00分 県水の供給を停止
- 21時30分 油が検出されなくなり水質検査の結果、安全性が確認
→手取川から取水再開
- 23時30分 県水の供給を再開

○油分濃度の変化

取水時刻	油分濃度
13時	0.18mg/L
14時	0.06mg/L
15時	0.04mg/L
16時	0.04mg/L
17時	0.03mg/L
18時	0.03mg/L
19時	0.03mg/L
20時	0.01mg/L
21時	0.00mg/L

急激に減少

徐々に減少

手取川水質事故の原因調査について



○ : 採水ポイント

鶴来浄水場

広瀬大橋
(右岸・左岸)

手取川
第三ダム

板尾前橋

金間橋

直海谷川

手取川

取水口
監視カメラ有